

県学警連だより No.145

児童・生徒が関係する性的ディープフェイク被害・加害防止について

最近、生成AIサイトや画像加工アプリ等により、実在する児童・生徒の画像を性的画像に加工して悪用する事案、いわゆる児童・生徒の「性的ディープフェイク」が社会的な関心を集めしており、実際に児童・生徒が被害に遭う事案が報告されています。

このような情勢を踏まえ、警察庁において生成AIによる画像加工等のリスクを周知するため、主に児童・生徒を対象とした広報啓発資料を別添のとおり作成しました。(内閣府、こども家庭庁及び文部科学省と協議済み。)

児童・生徒への性被害・性加害防止の呼びかけなどの際に、本資料を活用し、生成AIによる画像加工等のリスクについて積極的な周知をお願いします。

警察庁ウェブサイト (https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/prevent/materials.html)においても添付資料のデータを掲載しています。併せて御活用ください。

令和8年1月19日



熊本県学警連事務局
熊本県教育庁
学校安全・安心推進課
熊本県警察本部
生活安全企画課

加害事例



児童・生徒が関係する「性的ディープフェイク」事案では、児童・生徒が加害者になる事案も多数生じており、学校行事や卒業アルバムを含む日常の様々な画像を用いて性的なものに加工し、友人と共有したり、SNSで拡散したりするといった行為が報告されています。

添付資料より一部抜粋

そのAIの使い方、犯罪かも・・・ AIは便利なものだけど、使い方を間違えると大変なことになる！

警察庁
内閣府
こども家庭庁
文部科学省

軽い気持ちで他人の画像をAIで加工してSNSに投稿したら…



18歳未満の性的ディープフェイク事案発生状況

令和7年1月から9月までの間に全国の警察が把握した生成AIなどを悪用して児童(18歳未満)の性的画像を作成した事案が約80件発生しており、昨年と比較すると微増傾向にあります。

被害児童については、中高生が全体の8割を占めており、小学生の被害も発生しています。

事案の約半数は学校内の人間関係の中で行われており、警察では、相談者・被害者の心情に配慮しつつ、事案の内容に応じて刑法(名誉毀損、わいせつ物頒布等)等での検挙や指導・警告を実施しています。

熊本県警察本部生活安全企画課 肥後っ子サポートセンター ※相談受付 平日 8:30-17:15

【肥後っ子テレホン】 電話 0120-02-4976(オニコリヨカロー) 携帯電話からは、096-384-4976